



DOSANKO 活動報告

DOSANKO 活動報告

2017年4月～2018年3月

I 国外活動

(1) ネパール大地震支援活動

2015年4月25日の大地震後3年目の復興支援が、常駐の前田紀子ワーカー、檜戸健次郎駐在員、現地ボランティアのヒカモト氏、ユブラジュ氏により行われた。現地ボランティア両氏は2017年度どさんこ総会に来日し報告した。

・震災被害児童就学支援

2018年3月現までに、ゴルカ郡、ダーディン郡、ラスワ郡、ヌワコット郡、シンドゥパルチョーク郡、ドカラ郡に置いて38名（4歳から20歳）に奨学金支給による生活支援を実施している。

・歯磨き教室による口腔衛生啓蒙活動、

奨学生の通学している学校を中心に実施。2017年度は8月から現在までゴルカ郡とドラカ郡の3校、1年生から10年生628名の生徒に実施。プログラム開始から合計4523名の生徒が参加した。奨学生の通う学校については、予定していた学校は全て実施完了した。

・学校への救急箱設置

現在までにシンドゥパルチョーク郡、ドラカ郡、ゴルカ郡の7校に設置し、使い方も含めた研修会も行っている。

(2) ネパール公衆衛生活動

チョウジャリ病院公衆衛生部門の活動を支援した。予防接種、乳児健診、妊婦健診、学校健診、母親を集めての衛生教室、学校のトイレ、水飲み場づくり、煙突付かまどの普及活動、貧困児童への教育費補助、FM放送を使っの衛生教育など、多岐にわたる活動が、檜戸健次郎ネパール駐在員の指導のもと、病院公衆衛生部門スタッフにより行われた。また、地域での医療者育成のため、視機能師1名を奨学金で支えた。

(3) カンボジアでの活動

かつて“どさんこ”が行った保健活動を引き継いでいる現地 NGO「CCN」へ、運営のアドバイスと財政支援を行った。「CCN」は財政難とスタッフの高齢化から活動を縮小しており、今後、保健の活動は村々の協同組合に委ねる方向で進んでいるため、“どさんこ”の「CCN」への財政支援は 2017 年度をもって終了となった。

(4) ネパールスタディーツアー

10 月 23 日～11 月 4 日 6 名参加。

チョウジャリ病院、被災者キャンプ、ゴルカ孤児院などを訪問

II 国内活動

(1) 東日本大震災支援

2011 年より支援している気仙沼市階上地区の NPO 法人「生活支援プロジェクト K」に大泉代表を派遣した。継続的にフォローしている住民の相談にのるとともに、当該地区の仮設住宅がなくなったあとの団体の活動の方向性について、ニーズや財政状況も踏まえてのアドバイスを行った。

(2) 講演会、イベント

1 2 月 1 6 日 北海道 NGO ネットワーク；国際協力フェスタ参加

(3) どさんこオープンハウス

- 4 月 ポリビア 日本人移住者の現状 担当 木原
- 5 月 国際協力・ボランティア活動についての最近の動向 担当 清水
- 8 月 選択の自由と幸福度 TED conference より 担当 夏目
- 9 月 ニュージーランド滞在記 担当 長谷川
- 1 0 月 北方領土訪問記 担当 プランジャパンサポーター 松澤
- 1 2 月 ネパールスタディーツアー報告会
- 1 月 ベトナム訪問記 担当山田 と 1 月 31 日の月食に備える 担当西原
- 3 月 アジアを旅する 担当 飛んでけ車椅子の会 高橋

(4) 会報「どさんこ」・年次報告・ホームページ・ブログ、フェイスブック

会報 113 号～116 号、年賀状を発送した。ホームページでは集まりやイベントのお知らせ、ブログでは活動現場の様子を中心に掲載した。フェイスブックも作成した。また、寄付や会員の新規獲得のため、年次報告を作成した。



DOSANKO 活動予定

DOSANKO 活動予定

2018年4月～2019年3月

I 国外活動

(1) ネパール大地震支援活動

ネパール大地震後4年目となる2018年度も2017年度と同様の活動を前田紀子ワーカー、檜戸健次郎駐在員、ヒカモト氏、ユブラジュ氏により続けていく。

(2) ネパール公衆衛生活動

引き続きチョウジャリ病院公衆衛生部門への活動を支援する。今年度の奨学生は助産師1名を支援する予定。

(3) 研修生受け入れ・スタディーツアー

今後、海外協力を志す医療従事者や学生に、チョウジャリ病院や系列の病院での研修の機会を提供する。

ネパールスタディーツアー 11月1日～9日 を予定

II 国内活動

(1) 東日本大震災支援

気仙沼市階上地区のNPO法人「生活支援プロジェクトK」の要請に基づき短期専門家を派遣し、終了に近づいている被災後の活動のお手伝いを続けていく。

(2) 講演会、イベント、啓蒙活動

北海道NGOネットワーク活動への参加

国際協力フェスタ企画・参加(12月15日土曜日、チカホ北3条広場)

今後も、講演会や、学校教育機関からの依頼には、できる限り対応して出前授業などを行っていく。カンボジアやネパール東日本大震災での活動の経験から、平和の大切さ、地球全体で考える広い視野をもつこと、大量消費や原発依存などの問題に対して北海道に住む私たち自身の生活を見直すことについて発信していく。

(3) どさんこオープンハウス

世話人会にあわせて開催する。様々な話題を提供し、新たな発見・学びの機会にする。

(4) 会報「どさんこ」・ホームページ、ブログ、フェイスブック

年4回の会報と年賀状の発行予定。会員に興味をもって読んでもらえるように、紙面を工夫する。ホームページは読者が増えるように、更新、企画を考えていく。